[パラアスリートインタビュー]

[パラアスリートインタビュー]

東京2020パラリンピック競技大会の しかげき にほんだいいけんしゅ パラ射撃で、日本代表選手の ないていた第1号となった水田光夏選手。 しゃけま おも つづかうとともに、 まちた しいっしょ ちも とした。 出身地でもある町田市の子どもたちへ メッセージをいただきました。







パラ射撃 (SH2)

水田光夏 MIKA MIZUTA

自己ベストを自指して、自分と戦う

パラ射撃を始めたきっかけ 5ゅうがく ねんせい

ちゅうがく ねんせい 中学2年生のときに、シャルコー・マリー・ びょう まっしょうしんけい なんびょう トゥース病という末梢神経の難病を はっしょう くるま っか 発症して、車いすを使うようになりました。 3歳からクラシックバレエやスキーを やっていて、もともと体を動かすことが 好きだったのでスポーツをしたいという まも 気持ちがありました。さらに、高校3年生 のときには東京でパラリンピックが開催 されることが決まっていたということも あり、せっかくなので新しいスポーツを 始めたいと思うようになりました。その ころ しゅっじょうけいけんしゃ あっ 頃、パラリンピック出場経験者が集まる べんきょうかい さんか きかい 勉強会に参加する機会があり、たくさん の方の話を聞く中で、何も知らなかった パラ射撃に興味を持ち、私もやってみ たい!と思ったのがきっかけです。

れんしゅう いしき か くや し あい 練習への意識を変えた悔しい試合

意識が変わったことで身につく量も変わりました。その後の選考会でも、当時のじこべストを出すことができました。

人とのつながりを広げたパラ射撃

好きなことも取り入れて、 はあいちゅう きぶん たか 試合中に気分を高める

私はおしゃれが好きで、ツインテールがいつの間にか試合中の定番の影型になりました。また、ライフルを扱っているときに爪が割れてしまうことがあり、爪を守るためにネイルをするようになりました。そのうち、デザインにもこだわる

ようになって! 競技中もライフルに手を *添えたとき、ネイルが見えるのでモチ ベーションも上がりますし、気分転換 にもなっています。

興味を持ったことは挑戦してみる

^{とうきょう} 東京2020 パラリンピック競技大会への思い

最後に、町田市の子どもたちへ メッセージを

少しでも興味を持ったことは、ぜひチャレンジしてください!実際にやってみると、得意なことが見つかるかもしれませんし、得意ではないけれど"好き"なことがわかるかもしれません。得意なことでも好きなことでも、それは自分の自信につながると思います。

? パラ射撃ってどんなスポーツ?

ライフルまたはピストルで決められた弾数を撃ち、的に当たった得点を またで、またで、で、またが、 競います。一発の満点は10.9点。距離は、50m、25m、10mがあり、パ しゅう しゅるい しゃけきたいせい こと ラリンピックでは、銃の種類や射撃体勢が異なる13種目が行われます。



「プロフィール

1997年生まれ、町田市出身。中学2年生のときにシャルコー・マリー・トゥース病を発症。19歳でエアライフルを始め、2017年の第30回全日本障害者ライフル射撃競技選手権では初出場で2位によりは、2017年の第30回全日本障害者ライフル射撃競技選手権では初出場で2位になり、より、2017年の第30回全日本障害者ライフル射撃競技選手権では初出場で2位によりは、たいかいよくしゃってはエアライフルが多くしゃっては出場やからとくせんしゅのそりより、とうぎょうとうないない、東京2020パラリンピック日本代表選手の出場枠に内定。

